



西陵中学校

学校文化としての地域ボランティア

本校では、地域の皆さんとの連携の下、生徒に地域ボランティア活動への参加を促しています。活動への参加は、生徒にとって中学生の生活の一部となっており、その高いボランティアへの意識は本校の学校文化となりつつあります。昨年度は、この取り組みが岐阜県教育委員会から評価され、岐阜県ふるさと教育表彰優秀賞「郷土に学ば」を受賞しました。もちろんこの活動は、地域の皆さんからの申し出や当日の活動の支えといった「地域との連携」なくしては成り立ちません。地域の子どもたちを地域で育てるという気風が西陵校区では育まれています。

今年度ボランティアとして参加した主な行事

- ▷ しろやま公民館創立10周年記念ライブ
- ▷ 下石町花いっぱい運動
- ▷ 妻木町青少年育成町民会議
- ▷ 下石町青少年育成町民集会
- ▷ 妻木町ラジオ体操
- ▷ 下石町夏祭り
- ▷ 妻木町ふれあい夏祭り
- ▷ 火縄銃演舞・よろい武者行列
- ▷ 妻木町大運動会
- ▷ 妻木町文化祭
- ▷ 下石どえらあええ陶器祭り
- ▷ 下石町文化祭



町民集会での受け付け



花いっぱい運動



町民集会での吹奏楽部演奏



地域行事でのテント設営

花いっぱい運動に参加した女子生徒(3年)の感想

ボランティアをした後、地域の皆さんから感謝の言葉をいただきました。その言葉を聞いた時、私はとてもうれしくなり、気持ち良くなりました。自分たちで植えた花壇を見掛けると、つい目がそっちへ行ってしまう。他の人も見ているとうれしいです。このボランティアに参加して良かったと心から思いました。



給食センター掲示板

給食センター(☎54 6195)



土岐市で取れたお米を味わおう

学校給食では、米、牛乳、小麦粉をはじめとする県産農産物を積極的に使用し、「地産地消」の取り組みに努めています。さらに、市内の生産者の方々や市農林係、JAと連携して土岐市産の野菜も使用しています。

今年度は新たな取り組みとして、11月19日(木)に市内の全小・中学校と幼稚園で「土岐市産の米を味わう日」を実施しました。

11月19日(木)の給食メニュー

- ・麦ごはん
- ・イカのさらさあげ
- ・チコリチャンプル
- ・白菜の中華スープ
- ・柿
- ・牛乳



柿野地区集落営農組合の方々で作られた「こしひかり」を使用しました。



集落営農組合の田中さん



鶴里は標高が高く、朝夕の寒暖差が大きいため、うま味が詰まったお米が出来ます。地元のおいしいお米を味わって食べてください!

11月の給食では、米のほかに干しシイタケ、トウガン、キャベツ、白菜、根深ネギ、大根などの土岐市産の食材を使用しました。12月と来年1月にも土岐市でとれた米の使用を予定しています。

地元で作られる野菜は、農薬などの使用を極力少なく済むように努力していただいています。学校給食では、安全・安心な食材を使うことを心掛け、今後も地元の食材の使用を続けていきたいと考えています。